

平成24年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品

◆最優秀賞(3作品)◆

【小学生の部】「つなげよう 僕の道から きみの道」

中村 安里 さん 9歳(千葉県 千葉市立本町小学校)

選評：「つなぐ」というキーワードはこの一年の日本のキーワードでもあった。「僕」と「きみ」という言葉が単に個人でなく、世界中の僕ときみにつながるような広がりのある標語である。

【中学生の部】「いつの日も 歩きたくなる 道がある」

鈴木 裕也 さん 14歳(神奈川県 山北町立三保中学校)

選評：「道を友だちにしている」感じがよく出ている。きっと大人になってもその道を思い出したりするのだろう。優しい感性が感じられる。

【一般の部】「一本の 道に日本の 底力」

今田 紗江 さん 44歳(徳島県 徳島市)

選評：東日本大震災から一年を経過した今年ならではの句。力強い直球のメッセージを発している。道の上に青空が見えてくる。希望が見えてくる。この標語から日本中に希望と自信が発せられることを期待する。

◎最優秀賞3作品のうち、「一本の 道に日本の 底力」を今年度の代表標語とします。

◆優秀賞(6作品)◆

【小学生の部】「ありがとう 未来へ続け この道路」

大矢 裕介 さん 12歳(新潟県 長岡市立前川小学校)

「この道で 今日も出会いが 生まれてる」

池上 流彩 さん 12歳(鳥取県 鳥取市立湖山小学校)

【中学生の部】「決めたから この道行くよ どこまでも」

山本 桃子 さん 14歳(富山県 富山市立堀川中学校)

「人と人 つなぐところに 道がある」

川野 友裕 さん 13歳(宮崎県 日向市立平岩小中学校)

【一般の部】「明日もまた 道の向こうに 待つ笑顔」

内河 裕信 さん 52歳(神奈川県 相模原市)

「うまいく そんな風吹く 今日の道」

前田 千文 さん 42歳(石川県 加賀市)

※発表内容は応募時点

各審査委員による選評



三好礼子 委員

(小学生の部について)

笑顔いっぱい、元気いっぱい、未来いっぱいのはちきれんばかりの標語があり、とても元気をもらいました。きちんと五七五になったものも多く、レベルの高い作品が多かったです。

(総合選評)

例年より、自分の感情を正直に表したものが多く、表現したいこともいっぱいある気がしました。やはり道と人々の心というテーマをいつもより感じられたからでしょう。希望につながる標語も多く、詠んでいてこちらが元気をもらったり、大笑いしたりしました。ありがとうございました。

(小学生の部について)

明るい雰囲気作品がほほえましく良かったです。小学生の目線でしっかりと標語が完成されている点が印象に残りました。

(中学生の部について)

前向きでみずみずしい感性が含まれた素敵な入選作品が並んだと感じます。誰もが共有できる想いがありますね。

(一般の部について)

入選作品はどれもリズム感の心地好い作品で覚えやすいので、多くの方に好まれる標語であると思います。

(総合選評)

最優秀賞はとてもメッセージ性の強い作品で、どの世代の人の心にも響くのではないのでしょうか。各部門とも、時代にマッチした標語が揃ったと思います。



やすみりえ 委員

(小学生の部について)

3作品にはともにやさしさと子どもの柔らかな心が満ちています。ありがとう、出会い、つなげようという言葉が、新しい生活を支えるメッセージとなっているようです。

(中学生の部について)

中学生らしく、力こもったキラキラした心情が感じられます。「いつの日も歩きたくなる」という先へ進む感じが頼もしい。「決めたから」にも同様に、大人の入り口が近づいてきた時期の決意のような気構えが感じられます。

(総合選評)

明るさと未来を感じさせる作品が多かった。東日本大震災の中から、人々が立ち上がってきた時、生活に密着した道路に目が向けられてきた、そんな感じの明るさ・強さ・優しさに満ちています。



吉岡耀子 委員